

令和4年度 事業者向け 放課後デイみだい 自己評価 集計

5名中1名は配属されて1ヶ月の者。

		チェック項目	はい どちらともいえない いいえ 未回答				改善目標、工夫している点など
			はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2		3		<ul style="list-style-type: none"> ・相談室もプレイルームとして使用しないと足りない。 ・活動に応じてグラウンドや駐車場、訓練棟や自活棟を利用。 ・下校する時間が皆異なるので、活動と勉強する児童の空間を分け、集中するための環境作り。 【継続課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・平日は、利用人数に対しては狭さを感じる。(保護者からも同様の意見有り)外部からも狭さの意見を頂いている。⇒定員の枠が空いている限り、受け入れはしていきたい。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	1		<ul style="list-style-type: none"> ・R5年度に監査があるので確認を行う。 ・学校迎えの頻度が増え、既に下校している児童に対しての関わりが課題。 ・活動では全体を進行するスタッフの他に付添者が必要。(保護者からも意見あり) ・育休中のスタッフがいるため、入所の職員の配置が欠かせない状況。・入所の職員数が整う事で兼務が入る事ができる。⇒全て入所との兼ね合いとなる。 ・臨時休業の件や土日のスタッフ配置数を少しずつ戻したい。 ・ヒヤリングにて管理者へ配置数に関して報告・相談済み。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3			<ul style="list-style-type: none"> ・入り口はスロープになっている。 ・部屋にトイレが無い事で、ADLの向上の意識が薄れる児童もいる。 靴を履いている間に失禁等のケースがあり、成功体験からすると勿体無いと感じる。 バリアフリーとは関係ないが、 ・手洗いと歯磨き、食器洗いの場所が全て同じ。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4			1	<ul style="list-style-type: none"> ・評価を法人内部で目を通して頂く。 ・事業所内では評価、振り返りを大切にしていく。 ・スタッフで色々な意見を出し合っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、事業所評価共に振り返り、事業所内で取り組んでいける物事から取り組む。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・施設自体(みだい寮)はしている。午後に行っているので放デイは毎回不参加になってしまい資料回覧と感染症研修の映像のみだった。 ・外部研修は体制の都合上、お断りをしたり申し込みが難しかった。 【改善目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・来年度は児童分野の研修に行き、スキルアップの場を頂きたい。 ・苦情や虐待等の研修は、入所、GH、放デイ等、事業所ごと研修へ参加や入所職員が参加する場合、資料では無く伝達研修をして頂きたい。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				<ul style="list-style-type: none"> ・毎日がアセスメント。 ・子ども達の夢や頑張りたい事、挑戦したい事を聞き取る。 ・子どもの特性に応じて聞き取り方法を変える。 ・相談員や学校と連携を一層はかり、分析へ繋げていく。 ・子どもの想いと保護者の想いが大きくずれない様に留意する。

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要であればその都度検討している。 ・特性により、ツールとして必要な物を置けない(他児に投げられてしまう)状況も出てきている。 ・併用児に関しても連携していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・活動の土台は児発管が作成しているが、細かい内容はその日の担当者で決めてもらう。 【改善目標】 ・新スタッフが入ったので、年度が変わったら分担を設けていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・季節に応じた行事や新しい内容を取り入れている。 ・児童の希望も聞き入れている。 ・積み重ねて継続する事で、成功体験へ繋げている内容もある。 【継続目標】 ・遊びや楽しみの中で学べるように常に工夫していく。 ・今後も子供たちの希望を聞いたり、スタッフにも相談していき、その月、その年に合わせた新しい内容を取り入れていく。 ・様々な年齢や特性に合わせて組み立てていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・平日、休日、長期休暇、それぞれの特権を活かし、プログラムを組み立てている。 ・下校時間が学年・学校で異なる為、その日の活動内容により状況に応じて組み立てていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの日々。 ・個別の活動では工作系、集団ではみだいならではの訓練棟や部屋以外の環境を存分に利用し、譲り合いの気持ちや仲間と協力した達成感、喜び、悔しさの経験を積み重ねていけるように、目標の設定内容や支援内容、評価基準を一人ひとりに合わせた計画作成をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・今日何をするのか、誰がどの学校へ迎えに行くのか送迎表に基づき確認している。 ・兼務の職員との打ち合わせは難しい。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・良い面、課題面等、児童の気になった事は振り返りで共有している。 ・送りから帰って来る時間が合わない時には、電話をくれるスタッフも居たり、翌日報告し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・日誌、実績表、ケース記録の入力をしている。 【継続課題】 ・記録が抜けている時があるので気を付ける。 ・全児童が同じ記録にならないように。 ・取り組んだ内容のみではなく、活動に対してどうだったのか該当する場合は支援計画の目標に対しての詳細も記入し、経過が伝わる様にする。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・新規は2・3ヶ月で見直している。 ・児童は成長の幅が大きいので、年齢や段階に応じて目標に対しての評価基準の達成項目が達成できるように考えている。 ・達成が難しかった場合でも、その時に優先すべき課題を目標に変更している。 【継続課題】 ・児童と落ち着いて面談できる場面を作りたい時がある。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 【改善目標】 ・新任スタッフがガイドラインを認識していなかったので、目を通してもらう。他のスタッフも定期的に目を通す。 【継続目標】 ・今後もR5年度利用の児童の特性や下校時刻に応じて組み合わせを行っていく。 	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が参画している。 ・ケース記録に様々な視点からの意見が書かれているので、日々話し合いの中で出される意見や記録にある内容をまとめ、事業所の意見として伝えている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・手違いがあった事もあったが、その後直ぐに関係者会議で今後の流れの確認の共有ができた。 【継続課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・下校表のない学年もあるので、学校、保護者と体制を整える。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医ケア児でなくても救急シートを作成し、保護者から緊急時対応について情報を得ている。 ・現在、医ケア児はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・計画相談員や地区担当保健師を通して情報提供を行って貰っている。児童発達支援のモニタリングに同席させて貰ったり、保育所へ直接聞き取りに行かせて頂いたケースもあった。 ケースに応じて対応している。 ・気になる点があれば、卒園した園に聞き取りも行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は移行対象者がいなかった。 ・提供できる体制は整えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は連携する機会はなかった。 【検討 課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加をさせて頂きたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校や様々な地域の学校へ通う児童の利用がある為、あえて機会は設けてはいない。 ・導入としてはスタッフの交流から。子ども達の希望も聞きながら、他事業所との交流や連携から始めていきたい。 ・公園で遊びに来ていた子どもと一緒に遊んだ事はある。 ・障害のない子どもの表現は来年度取り消す。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・放デイの事業所は参加していない。みだい寮として参加。 【改善目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・内容によっては参加したい。 ・みだい寮の参加した者より内容を共有して貰う。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との関わりは積み重ねていく事が大切だとスタッフ一同思っている。 ・お迎え時や日々の送迎時やり取りを大切にしている。 ・送迎のスタッフが同じ家庭に偏らない様、配慮している。 ・児童の様子、家庭の状況等保護者と伝え合っている。 ・連絡帳や送迎以外に、状況に応じて日々電話での対応もしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		【検討 課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの知識、力量不足はある。 ・保護者の負担にならない様、会話の内容を配慮したり、関係者会議等で再度確認をして行っている。 ・研修等に参加し、スタッフ間で共有しスキルアップへ繋げていくべき。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			【現状・継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・見学に説明をし、契約書にサインを頂く前に重要事項説明書の内容を中心に再度説明したり、保護者の質問に答えている。 ・特に新規利用の場合はステージが変わる児童が多い事もあり、保護者も不安感があるので、利用が始まってからも適宜説明をしていく。 	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて基幹や相談員へ助言を求める事もある。 【検討課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から様々な話をしているが、まだ不十分さと適切な助言になっているかの不安もある。 ⇒スキルアップできる研修に参加させて頂きたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会はない。 ・保護者の中には駐車場で顔を合わせた際、スタッフが仲介に入り交流する場面はあった。 ・合同会議を行うケースもある。 【現状・検討】 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者評価の中ではあまり保護者同士が連携を図る事を希望していない。しかし、あるテーマに対し、話を聞きたいという意見はあり、様々なケースを見ているクローバーに依頼し、ディスカッションする機会を提供するのは良いかもしれない。保護者の意見を聞きながら検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約書にサインを頂く際に説明をしている。 ・今年度、苦情はなかった。 ・子ども達に対しては、表情を見て困っている事は無いか聞いている。 【継続課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・苦情でなくてもちょっとした会話の中の言葉を受け止める。 ・嫌な事、困った事等を発信できるようになる練習も必要。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			<p>通信に対しスタッフからの意見： 「写真掲載の通信、分かりやすいコメントが手に取るようで、皆楽しみにしていると思う。見るのを楽しみにしている。」 入所の職員からもデイの部屋に一部掲示してあるので、自由に見る事ができ様子が分かると意見を頂いている。</p>
	35	個人情報に十分注意しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・職務上知り得た事は、情報が洩れる事が無いよう一人ひとりが注意を図る。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・活動予定については絵と文字、漢字にはふりがなを付ける等配慮している。持ち物の確認等保護者も確認がしやすい様に配慮している。子ども達との意思の疎通、情報伝達について、まだまだ勉強不足を感じる。研修等で学び、実践していきたい。保護者とは連絡帳、電話、メール、送迎時等、其々の家庭に合わせている。 【継続課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの伝達方法は日々アセスメントを取りながら配慮していきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		4	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍という事もあり、みだり察含め招待する事業運営はなかった。 【検討課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・法人全体の今後の検討課題となる。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの内容全てという面では保護者に周知はしていない。 ・感染症は休業する基準、対策と利用を控える基準例等を通知にて提示済み。 ・緊急時、防犯については、保護者には簡単な説明のみ行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウイルス感染症の関係で行えなかった。 【検討課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成。他事業所より情報収集をする。 ・感染症の統括責任者より許可がおりれば法人内の訓練に参加ができる。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、放デイのスタッフが研修に参加できなかった。 【改善課題】 ・法人全体で研修を行っていくべき。 ・入所、GH、放デイ等、事業所ごと研修へ参加や、入所職員が参加する場合、回覧資料では無く伝達研修をして頂きたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに沿って対応しているが、設問に該当するケースはなかった。 ・必要な場合に関しては、設問40の研修が組まれた上で、拘束を行わないためにはどうすべきかを検討していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りの際、家庭より伺っている。 ・医師の指示があれば、保護者を通して詳細を提出して頂く。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット集以外にも、気が付いた事はスタッフ間で共有し、ケース記録に入力している。